宮運整第６８６号の２
令和４年１月７日

宮城県内自動車運送事業者　各位

東北運輸局宮城運輸支局長
（　公　印　省　略　）

大型車の車輪脱落事故防止対策の再徹底について

標記について、自動車技術安全部長より別添「大型車の車輪脱落事故防止対策の再徹底について」（令和３年１２月１３日付け、東自整第１２８号、東自保第９７号）のとおり通達が発出されたところですが、令和３年度の宮城県内における大型車の車輪脱落事案は１２月１４日現在すでに６件発生しており、昨年度の件数と並ぶ危機的な状況となっております。

つきましては、大型車の車輪脱落防止を図るため、下記事項について確実に実施頂くよう、再徹底をお願いいたします。

記

１．タイヤ交換作業後は、５０ｋｍ～１００ｋｍ走行したら規定のトルクで増し締めを確実に実施すること。
２．タイヤ交換時には、ネジ部、ハブ面の錆、汚れ等の清掃作業を確実に実施すること。
３．劣化・摩耗が進んだホイール・ボルト及びホイール・ナット等は早めに交換すること。

別添

東 自 整 第 １ ２ ８ 号
東 自 保 第 ９ ７ 号
令和３年１２月１３日

管内各運輸支局長　殿

自動車技術安全部長
（公印省略）

大型車の車輪脱落事故防止対策の再徹底について

管内の大型車の車輪脱落事故防止対策については、事故件数が前年度と比べ高止まりしている状況を踏まえ、９月１日より「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開し、事故防止に向けた取り組みを積極的に実施しているところです。

今般、キャンペーンの一環として、１１月から１２月に各県で実施したホイール・ボルト、ナットの街頭点検において、点検車両の約３割に若干の締め付けトルクの低下がみられ、そのうち１台には著しい緩みが認められました。

また、１２月８日には東北道下り線安代ジャンクション付近において、自家用大型トラックの車輪が走行中に脱落し、後続の高速バス等３台が接触する事故が発生しました。

当該事故の原因は現在調査中ですが、冬用タイヤへの交換後１ヶ月未満で車輪が脱落しており、増し締め作業の未実施等が疑われるところです。

つきましては、大型車の車輪脱落事故防止に係る下記重点事項について再徹底を図るため、関係者に対し啓発チラシ等を用いた周知を改めて要請するとともに自家用自動車使用者への更なる広報啓発をされるようお願いします。

記

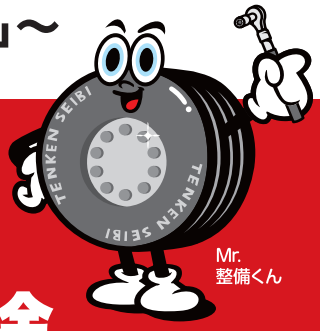
１．タイヤ交換作業後は、５０ｋｍ～１００ｋｍ走行したら規定のトルクで増し締めを確実に実施すること。
２．タイヤ交換時には、ネジ部、ハブ面の錆、汚れ等の清掃作業を確実に実施すること。
３．劣化・摩耗が進んだホイール・ボルト及びホイール・ナット等は早めに交換すること。

以上

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

夏 冬 タイヤ交換後の 大型車の車輪脱落事故に注意！

～大型車の車輪脱落事故を防ぐ新しい「お・ち・な・い」～



Mr.
整備くん

お とさない！ 脱落防止はまず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ
唯一かつ最善な手段です。

ち ゃんと清掃、ちゃんと給脂！

ナットとワッシャーとの
隙間への注油も忘れずに！

- ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを塗布してください。ナットをボルトの奥まで回転させたとき、ナットやワッシャーがスムーズに回転するか点検します。
- スムーズに回転しない場合、ボルトとナットはセットで交換してください。
- ボルトとナットは新品から4年経過後は入念に点検してください。

な （ナット）ット締め、トルクレンチを必ず使用！

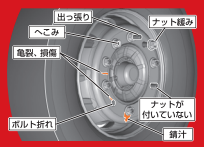
- 適正なトルクレンチを用いて規定のトルクで確実に締め付けます。

- 初期なじみのため、タイヤ交換後50～100km走行後を目安に増し締めを実施してください。

い ちにち一回、緩みの点検！

ホイールナットの緩み点検／
インジケーターの正しい使用
方法などがご覧いただけます

- 運行前にボルト、ナットを目で見て手で触って点検。



- 特に脱落が多い
左後輪は重点的に点検を。

- ISO方式の場合は、目視で確認できるインジケーター装着による点検がより効果的です。

詳しくは、
こちらから！

国土交通省　自動車点検整備推進協議会　大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会　日本自動車工業会（いすゞ自動車　日野自動車　三菱ふそうトラック・バス　UDトラックス）　全日本トラック協会　日本バス協会　全国自家用自動車協会　日本自動車整備振興会連合会　日本自動車販売協会連合会　全国タイヤ商工協同組合連合会　日本自動車タイヤ協会　全国石油商業組合連合会　日本自動車車体工業会　日本自動車輸入組合　日本自動車機械工具協会　日本自動車機械器具工業会　自動車用品小売業協会　日本自動車車体整備協同組合連合会

タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる

車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、【車載の「取扱説明書」】や【本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ4つのポイント」】、【下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」】などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

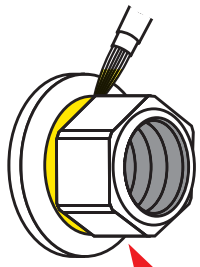
※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

注意 ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、スチールホイールの取り扱いミス(誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの潤滑について ISO方式

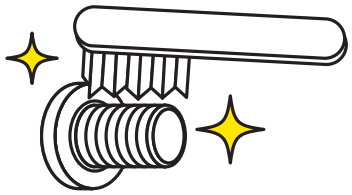
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



ナットとワッシャーとの隙間への注油も忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



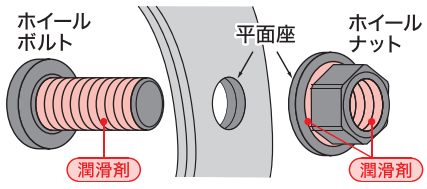
ホイールナット締め付け時の注意点だよ!

ホイール締付け方式

ホイールの締付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。
また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275㎜) 22.5インチ:10本(PCD335㎜)
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪:右ねじ(新・ISO方式) 右輪:右ねじ　左輪:左ねじ(従来ISO方式)
ホイールナット使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33㎜(従来ISO方式の一部は32㎜)
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め

ホイールのセンタリング	ハブインロー
アルミホイールの履き替え	ボルト交換
後輪ダブルタイヤの締付け構造	

詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください。 http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

大型車ユーザーの皆様へ

令和3年9月

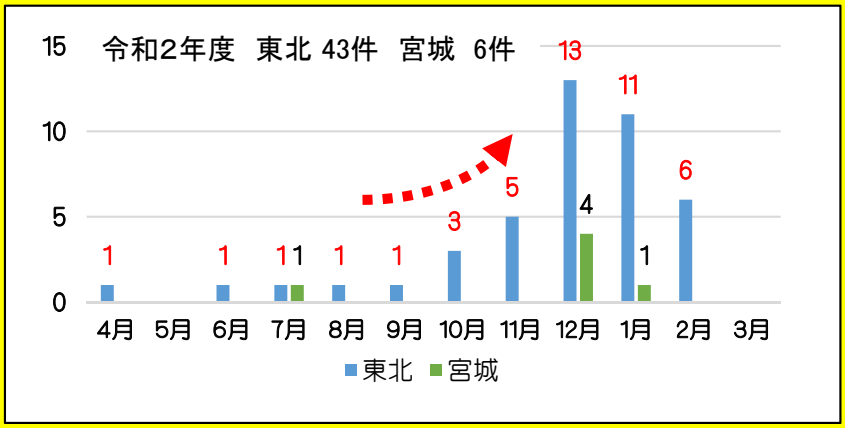
事故ゼロを目指して！
大型車の車輪脱落事故防止キャンペーンの実施
～宮城の大型車の車輪脱落事故を防げ！！～

大型車※のホイール・ナット緩み等による車輪脱落事故が増加している状況を踏まえ、東北地域では令和3年9月から「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施します。

※大型車とは、車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス

1. 宮城運輸支局管内の車輪脱落事故の発生状況（令和2年度速報値）

- 事故発生件数は6件（過去最多となった前年度比5件減）
- 冬期（11月～2月）に多発
- 特にタイヤ交換作業が集中する11月の交換車両に多発
- 車輪脱着作業後1ヶ月以内に多発
- 車輪脱落は全て左後輪
- 全てがトラックによる事故



※令和元年度　東北 48件（過去最多）　宮城 11件（過去最多）
出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

2. 東北地域における車輪脱落事故の傾向と対策の方向性

50～100km走行後に規定トルクで増し締めを確実に実施することは、当然ですが、東北地域では車齢6～9年の車両で多発している傾向から、

【対策の方向性】

- ネジ部・ハブ面の錆・汚れ等の清掃作業を確実に実施
- 劣化・摩耗が進んだホイール・ボルト及びホイール・ナット等は早めに交換

（錆や汚れを落とし、ネジ部にエンジンオイルなどを薄く塗布してナットを手で回した時、スムーズに回転しない場合は、ネジ部に異常があります。）

・東北運輸局ホームページに車輪脱落事故防止に関する特別ページを開設　※今後の詳しい取り組み内容と状況は同特別ページをご覧ください。

特別ページ
ＱＲコード

〈問い合わせ先〉
国土交通省東北運輸局宮城運輸支局
検査・整備・保安部門
TEL：022－235－2517（ダイヤルイン「2」）

正しい作業が、防ぐ事故。

徹底しよう！車輪脱落を防ぐ、4つのルール

お きまりのトルクで きちんと 締め付けて

規定のトルクで確実な締め付けを

ち ゃんと増し締め 交換後

50～100km走行後に、しっかり増し締めを

な (ナット) っと見て ボルト触って さぁ出発！

一日一回の日常点検を

い や待てよ？ボルトと ナットは適正か？

ホイールに適合したボルト、ナットを

左後輪に注意！

車輪脱落の多くが、気がつきにくい「左後輪」で発生しています。左後輪の点検は重点的に行ってください。

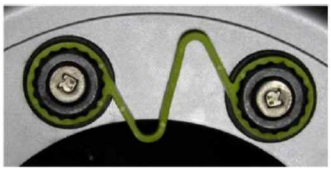
ホイールやホイールボルトの錆に注意！

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは、交換してください。

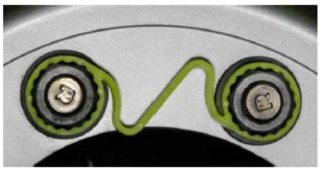
錆びたボルト・ナット

《令和3年3月「自動車の点検及び整備に関する手引き」改正》
ホイールナットマーカー等を活用した新たな点検方法や車齢4年以上の車両に車輪脱落事故が多く発生していることを踏まえ、ホイール・ボルト及びホイール・ナットの交換目安等が規定されました。

ホイール・ナットへのマーキング例



緩みなしの状態



左右のホイール・ナットが緩んだ状態

ホイールナットマーカーの装着例
（ホイール・ナット回転指示インジケーター（ＩＳＯ方式）装着の場合）